

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター小鳩園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の興味、苦手さを把握し、問題に寄り添い、計画が立てられ、計画に沿った対応がされている。 職員同士または職員と保護者の話し合いがされ、共有されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回または必要に応じたグループ会、関係者会議の実施。職員で共有し、個別支援計画に反映する。 モニタリング以外にも、情報共有や確認したいことは保護者懇談の機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のミーティングと夕方の振り返りの時間の確保をし、情報の共有をこまめにしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 専門職がそろっていて、職員同士、常に相談し合える。 多角的な視点の保護者へのアドバイスは、具体的でわかりやすく、職員のスキルアップにもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育指導や療育スタッフ会、関係者会議等でケース検討や課題の洗い出しをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も風通しのよい職場環境に心がけたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 通園職員の配置は十分されているため、手厚い支援ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループを超えた支援体制がとれるよう、連携している。 ケース会、職員研修等積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝夕延長保育に対応できる職員体制、サポート体制を目指している。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 施設老朽化 安全対策、寒さ暑さ対策、清潔感、照明 	<ul style="list-style-type: none"> 保育室、相談室の冷暖房は完備しているが、廊下階段等の温度管理は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策を優先し、必要な修繕を予算化していきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の横のつながりを持てる機会がもっとほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会の運営がない(休会中) 保護者懇談会の参加者が限定されている。 就労家庭、併行通園の増加により、保護者が集まる機会を設定することが難しくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> グループごと参観日を設ける、土曜日に開催する等、就労家庭も参加しやすい工夫をしていきたい。 ペアレントトレーニングは単発でも参加しやすい内容にするなど、今までのやり方にこだわらない工夫をしていきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 情報が紙媒体なので、SNSやアプリを使ってほしい。 (朝夕延長保育の増加に対応する運営になっていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> コドモンの導入がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT予算化、コドモンの導入を目指している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター小鳩園

公表日 令和8 年 4 月 10 日

利用児童数 58

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0	部屋の広さと人数は考えられているとおもいます 広くて充実しています	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	1	十分な配置だと思えます しっかり見てくれていて、気配りも行き届いています	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	0	おもちゃや普段触れられないものは目に見えないようになっていた すぐわかりやすく助かります	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	4	0	1	清潔だが、建物の古さが所々に見られて、綺麗になると利用者としては嬉しい 2階の子ども用のトイレがもう1つあって もいいと思う。現状は1つなので。 冬季は廊下やトイレが非常に寒いので改善してほしい。 とても清潔で整理整頓されています トイレなどもう少し清潔感があると面白いと思います。	・施設面の不具合は、市のサポート課や施設管理担当に修繕を依頼。 利用者のご意見は市へ意見をあげています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1	0	0	子ども1人1人、どうゆうことが好きか、苦手かみてくれているとおもいます。 専門的なアドバイスをたくさんしてもらえて参考になります	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	1	内容や仕組みがわかりやすいです	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0	問題に寄り添って適切な計画を立ててもらえています	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	4	0	0	とても具体的に困り事に寄り添ってくれます	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0	計画に沿って対応してくれています	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	3	0	0	状況に応じて対応してくれます	
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	4	0	3	保育園の中に分室があるので、日々の交流ができるありがたい環境です。 今通っているクラスでは特に交流などはなし。 交流することによって同じ年代の子どもさんのこともよかったです 保育園に通園している	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1	0	0	わかりやすい説明があります	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0	計画書を見ながら確認や説明があります	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	1	0	回数が少ないので、参加しやすい方法は検討の余地はあります 参考になる会があります	保護者向け「療育だより」の内容を工夫し、ペアトレの一環として伝えていく。 保護者懇談会でミニ研修をする。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	1	0	0	話し合いができています 丁寧に共有してもらえます	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	0	担当の先生と話し合いができています 毎回助言をもらえます	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2	0	1	とても寄り添ってくれます	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	0	5	保護者会はありますが、横のつながりを持って ような機会がもっとあるといいな あとってます	・保護者懇談会や参観日に保護者同士が 気楽に話し合える機会を作りたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	1	対応してもらってます	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	4	1	5	紙媒体だけなので、SNSやアプリを使っ て欲しい	確実な周知のためにICT化を検討中。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	1	2	名前の漢字の間違いが過去にあった。	資料の誤字脱字、個人名はダブルチェッ クで確認する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	4	1	4		年度初めにマニュアルを職員で確認し、 年一回は内容の見直しと検討をする。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	1	4	避難訓練定期的に行われています	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	3		安全計画、BCPの周知、見直し。 実際可能な内容が検討。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	6	説明してくれている	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0	安心して楽しんでいます	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	1	イベントや友達に会うのを楽しみにして いる すごく楽しみにしていて、大好きと言っ ています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0	職員の方の対応は大変丁寧で、配慮がな されています。親子共々安心して、子ど もは楽しく通わせてもらってます。施設 は古いので充分安全で快適とは言えない です。保育園と園庭を共にしていて、自 由に行き来があり理想的な環境だと思 います。 通い始める前とではかなりの変化や成長 がみられました。大満足です。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センター小鳩園		公表日				令和8年4月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	7	<p>部屋の工夫 通園、グループ、きらっとなど、利用者が多岐にわたり、トーマスなどの部屋の利用の制限があるため、保健センターを利用するなど改善が必要 建物が古く、館内が暗いことでイメージが悪いと思われる。 快適な環境に近づけるよう、修繕してもらったりしている。 ・個のスペースが少ないため段ボールで間仕切りを作っているが、不安定であったり壊れやすいためきちんとした間仕切りがあると良い。 部屋ごとに使用の目的を分けてしまうとどうしても保育室に限りが出てしまう 児童支援を目的として建てられたものではないので、支援に必要なものを置くスペースが不足している。(子どもの手のとどくところに置く危険なものや療育上、要求があれば渡すべきものを置く場所がない) パーテーションで仕切った向こうに置いたり、布で目隠しをしたり、様々な工夫をしている。</p>	子どもの様子に合わせたよりよい対応を柔軟に職員間で考えていきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	4	<p>手厚い支援ができるように特に早番、遅番に従事できるような職員を配置して欲しい 日中の職員数は適切だが、夕方延長の利用が増えているため、夕方延長職員が必要 ・サポートし合えるところはみんなでサポートする意識、体制がある。 大人が多いと思う時もある</p>	・安全面にも配慮し、必要な支援や対応ができるよう、サポート課と協議して、必要な職員数を狙いたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	7	<p>建物が暗い所や段差などがあり危険な場面がある。自分達で工夫して作っている 内線があれば良いのと思うことがある スマホなど私物を使用しているので今後考えていって欲しい 小鳩園の分室が竜北保育園の中にあるが、悪天候でもスムーズに行き来出来るように渡り廊下などあるといいと思う。 ・一人で子どもの対応をしていることもあるので、館内に内線電話が欲しいと思う。現在は必要な時は個人の携帯電話を使っている。 水道がない部屋もあり急に使う必要がある時に別のところの水道を利用しなければならない。</p>	・安全チェックやヒヤリハットは常に共有していく。 修繕が必要な場合は、作業員や施設担当に依頼。	

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	8	<p>努力している</p> <p>職員で考えを出し合いながら、安全かつ清潔を保てるように環境整備しているが、補いきれない所もあると感じる。</p> <p>構造化はできているが、あそびの目的別の部屋になるとさらにわかりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明が暗い、壊れているところがある。 ・園庭の遊具が使えない。 <p>部屋を工夫しながら使用しているが、その日によって使えるか使えないかでも子どもたちの活動が変わる。トーマスのような大きい部屋が他にもあれば室内でも思い切り走る経験ができたり活動の幅が広がる</p> <p>ももとの目的が子どもに合ったものではないので、使いにくさはあります。(2階建て、部屋のつくりなど)</p> <p>冬場、各部屋と廊下との温度差がある</p>	<p>・園庭遊具は滑り台が設置された。安全対策は引き続きとっていく。</p> <p>・保育室の使い方は、快適に過ごせるよう工夫していきたい。</p>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	2	<p>パーティションなどで区切り個別の空間を作っている。トイレに個別の空間があるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用できる部屋を使ったり、段ボールで仕切るなどしているが設備的に充分とは言えない。 	<p>・年度末、遊びのコーナー部屋を目的別にリメイクした。必要に応じて、個別対応できる工夫をしていきたい。</p>
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22	1	<p>児発管と担当職場、相談員、保護者と話し合える機会を作っていたいて情報共有ができてありがたいです。</p> <p>行っているが職員同士話し合う時間がなかなか取りづらい。</p>	<p>・掃除、延長保育対応の工夫をして、職員同士話し合う時間を確保していきたい。</p>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	0	<p>事業所内では、できる範囲での改善はしていると思います。</p>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	0	<p>職員会、スタッフ会、関係者会、グループ会、その他必要に応じて話し合いをする。</p>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	19	4	<p>外部の意見は取り入れるが、第三者は明確にできていない。今後の課題。</p>	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	23	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	23	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	0	<p>担当と保護者の個別懇談をこまめに取り入れたい</p>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23	0	<p>・延長保育の対応も増え、日々の活動や子どもの姿や手だてを職員間で振り返る時間がまったく取れない日がある。</p>	<p>・夕方の振り返りは保育終了後すぐに実施。その後、掃除や延長保育に対応する。</p>
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	23	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	23	0	子どもたちにどんな力を付けたいか、どんな経験が必要か、日々グループ間で話し合っている。 ・朝夕の延長対応があると、打ち合わせや振り返りが出来ないことが多い。	・朝夕延長対応については、やり方の工夫や職員体制を考えたい。 ・今後の課題として、サポート課とも協議していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23	0	その日登園する子どもに合わせて内容を検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	23	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22	1	朝夕の延長保育の対応等により、必ずやっているとは言えない。	・朝夕延長保育や職員体制など運営については、今後の課題として、こども部全体で検討できるよう、協議していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	1	・他グループの応援に入ったり、延長保育の対応等がある時はグループ職員と話せないまま、ということがある。 延長保育もあり職員が集めれない、時間がなくなかなかしっかりと振り返りができないときがある。そのなかでも時間をみつけて情報共有する時間をとっている不十分なきがあると感じる	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	23	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23	0	成長ダイアリーを使用して情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	22	0	公立の児童発達支援事業所とは年間計画的な連絡会があり、お互いの研修に繋げているが、民間とは今年度始めたばかり。今後どう連携していくかは課題。	・事業所連絡会で話題に出していくことも大切と考える。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21	1	・決まった職員が参加することが多いので、スタッフ同士が交流し情報交換するような機会もあると良い。	・多くの職員が参加できるよう振り分けしたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23	0	隣接の保育園との交流が日常的にある。保育園内にも小鳩園の分室がある。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	23	0	共通理解をする為離したり共に考えたりする時間を取るが伝えたいように伝わらないことはある	・保護者にわかりやすい伝え方をすることを心がけたい。	

保 護 者 へ の 説 明 等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	0	参加保護者が少なくなっている。やり方の工夫が必要 ・担当する心理士さんの負担も大きいので、きらりあのコーディネーターさんにもお願いしていいかと良いか。	・必要な家庭支援として継続していくために、時代に合ったやり方の工夫を考えたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23	0	新しい保護者に説明がないまま。年度途中でも知らせる必要がある	・年度始めと年度途中に説明機会を作る。 ・掲示板に運営規程や重要事項説明、支援プログラムを掲示し閲覧できるようにする。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	21	2	保護者会がないため、集まる機会は少ない。 就労する保護者も増えている。グループごとの集まりで工夫したり、保護者懇談会で機会を作っている。 個人的には父母の会、保護者会には携わっていない	・就労家庭に合わせた保護者同士つながる機会の工夫。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	23	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	19	4	園からのお便りは徐々に電子化していくことを考えてみてはどうか 業務上そのような機会がない	・ICT化を目指していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22	1		
非 常 時 等 の	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	11	地域住民をお招きするのは少し難しいのではと思う 外部からの研修や視察は受け入れているが地域住民の招待はない。 ・災害時などにも協力し合えるよう日頃から交流できると良い。 ・避難訓練、不審者対応訓練の際に近隣の方に観に来ていただけるよう通知を出すのも良いか。(来なかったとしても周知はすると良いと思う) 業務上機会がない	・竜北保育園と交流の中で、地域との関わりを作っていきたい。 ・要望があれば、主任児童委員や地域の方の視察など受け入れたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	1	策定はしているが見直しはこれからの課題	・年に1回は見直し、検討
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	23	0	てんかん等持病があるケースは看護師の配置をしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	23	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	0	日頃の保育の中で常に気を配り、ヒヤリハットの共有をして再発防止に心がけている。	

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23	0	必要に応じて話しているが、計画的には行われていない。	・災害時のサポートブックを作成を検討している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23	0	年一回は職員研修を実施	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	0	・年に1回は職員研修を行い、対応について周知を行う。 ・保護者には重要事項説明の中で説明する。個別支援計画に入れ込む。	